

白浜レスキューネットワーク通信 12月号
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8
TEL&FAX0739-43-8981
<http://www.aikis.or.jp/~fujiyabu/nrsv1.htm>
e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

12月1日～12月31日

電話件数 71件

保護件数 1件(男性1人)

○2日、三段壁のパトロール中に一人でいる男性を発見、声をかけ様子を見守っていた。その間に、その男性の両親から連絡を受けた警察が保護した。パトロールに参加していたスタッフが、うちで保護できる旨を伝え、両親の了解を得て保護に至った。20代で進路のことに悩んでいた。話をする中で落ち着き、翌日帰宅した。
○7日、三段壁から電話があり、男性を保護した。話をする中で落ち着き翌日帰宅した。

生活自立支援活動

12月1日～12月31日

滞在者数 13人(男性10人、女性3人)

○耳の不自由な60代の男性がアパートへ移った。以前から医療保護を受け、耳鼻科と皮膚科と精神科と泌尿器科へ通院治療をしている。今回、アパートを借りて一人で生活したいという本人の意向があり、今後の事も踏まえて生活保護を受けることになった。まちなかのチラシ配布や皿洗い、パトロールなど継続して関わり続ける。
○8日癌を患っていた70代の男性が、召天した。昨年の8月に保護されたときにはすでに肺がんを患っていたが、そのことを隠していた。脇腹のあたりが痛いと言った病院に通うようになったが、本人はずっと脂肪の塊だと説明していた。癌だとはっきりしてから数か月、ほぼ毎日通院し、痛み止めの点滴をし、抗がん剤治療も受けた。最後まで自分の部屋で過ごしたいと、入院を拒否していたので、それをかなえることがで

きたことが何よりだった。病院の先生も「本当に苦しかった時間は短かったと思います」という話も聞いていた。共同生活の仲間も含め、たくさんの人に支えてもらった最後だった。絶縁状態だった家族が教会で行った前夜式、葬儀に参加し、涙を流していた。生前に再会をさせてあげたかったという気持ちも残ったが、最後まで戦った彼らしい人生だったと思う。お骨は岡山のお墓に埋葬されることになった。

○8日まちなかキッチンの惣菜で働いていた20代の男性が出るようになった。前から突然キレてしまうことがあり、それを直そうと努力してきたが、もう直らないと、もっとらしくに生きたいと本人が出した答えだった。関東にいる家族のもとに帰らせてほしいといい、出発したが家には戻らず名古屋で生活していることが後でわかった。今後も連絡を取り合っていく。

○先月保護された男性が、まちなかキッチンの皿洗いに加わった。少しずつ生活にも慣れ、ガレージの片づけなど、自分ができることを見つけて取り組む姿を多く見るようになった。自立に向けて頑張ってもらいたい。

○9月に保護された50代の女性が、旅館の仕事を辞めた。そこでの人間関係にうまくいかず、精神的にまいってしまった。少し休息の時間をもちつつ、今後の事を相談していく。

○料理旅館で調理の仕事をしていた男性が仕事を首になり、11日からまちなかキッチンで働くことになった。訓練を積み、自分の苦手とするところを直して再度社会に出て行けるように頑張ってもらいたい。

自殺予防活動

・放課後クラブ「コペルくん」

今月も毎日10名前後の子どもたちが集まった。今月はクリスマスに向けて、クッキーづくりやハンドチャイムの練習をした。



夏のお泊り会でハンドチャイムをした8人のメンバーからもう一度やりたい!という声があり、こどもクリスマスで発表の機会を設けることにした。谷本智子先生に指導していただき、週に2回練習した。基本的な礼儀やあいさつ、受け答えから指導を受けた。張りぼての演奏ではなく、積み上げることの難しさややりがいを感じる時になったと思う。音楽を通して子どもたちにやりきることの大切さや楽しさを経験させることができた。



12月24日にはまゆう病院とデイサービス向けのこにキャロリングにいった。お年寄りとの関わりは子どもたちにとって新鮮で、一人一人と手をつないで挨拶を交わした。涙を流して喜んでくれた方がたくさんいた。

・はじめ人間自然塾お餅つき

12月29日お餅つきをした。大人と子どもが交わる楽しいひと時になった。お餅を丸めるのが初めての子どももたくさんいた。大人に教えてもらいながら「達人」目指して頑張った。ついたおもち近所のお宅にも配った。



・相談電話

2日、9日、16日、23日、30日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・まちなかキッチン

弁当、惣菜は26日まで営業し、31日におせちの販売を行った。お疲れ様会をし、まちなかに関わった全員でこの一年を振り返った。今まで気が付いていても直せなかったことやできていなかったことを改善していきたいという声や、より配達先を増やせるように、良いものを販売できるようにと前向きな意見がたくさん出た。気持ちを新たに新年4日からの営業に備えていきたい。

・農業

さつまいもをたくさん収穫することができた。小松菜や大根、高菜、えんどうまめ、ミニトマト等を出荷した。

○講演活動

17日、養島中学校で講演をした。

今後の講演予定

1月29日NOSA I 近畿地区職員研修で講演